

2月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

高村京子議員の2月県議会一般質問(3/2)の答弁の要旨を紹介します。
一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



＊ ＊看護師の確保の現状と養成支援について＊ ＊

高村 県は、民間看護学校への支援を掲げている。上田市医師会は令和5年3月に准看護学科を閉科して3年過程の看護学校への転換を計画している。財政面を含めた県の力強い支援を求める。

健康福祉部長 昨年9月に上田市医師会等に行き意見交換をした。県ではこれまでも医師会等から聞いた看護師養成施設の実態を踏まえ、運営費に対する補助を行っている。今後の状況なども踏まえ、支援について検討していく。

＊ ＊新和田トンネル無料化の延期について＊ ＊

高村 無料化を先送りにする間、朝晩の通勤時間帯の全額割引や全利用車を半額とする新たな割引の導入もしくは観光目的の利用に対して例えば帰路について無料券を配布するなど、コロナ禍によるトラックやバス業界、観光業の苦境を踏まえ、市町村とも連携し負担軽減策を検討していただきたい。

建設部長 有料道路活用による道路環境改善事業と同様な考え方により負担軽減を行うことは難しい。引き続き市町村と連携して実施している利用者負担軽減事業を令和3年度末まで継続実施し、負担軽減を図っていく。

高村 他の県道路公社管理の料金から比べると非常に負担が重く、ご配慮いただきたい。

＊ ＊男女ジェンダー平等、困難を抱える人に配慮する社会へ＊ ＊

高村 コロナ禍により男女不平等でさらに苦しむ女性が増えている。固定的性別役割分担意識や、性差に基づく偏見や思い込みが根強く残り、女性の生きづらさがある。来年度からの新たな第5次男女共同参画計画では男女平等への取組をどのように強めるのか。

女性活躍推進監 取り組みの基盤として、男女双方の意識改革、理解の促進を重点目標の一つに位置付けている。意識改革を促す啓発事業は、繰り返し色々な機会を通じて多様な事例を取り上げながら行うことが肝要。引き続き広報啓発活動を推進していく。

高村 「障がい者共生社会づくり条例」を策定中だが、当事者抜きに決めないでほしい。

健康福祉部長 これまでも企画立案の場には、当事者や支援している方に参画いただいている。今後も意見交換の機会を設け、施策に反映するよう努める。

高村 誰もが居場所と出番がある長野県を目指す知事として、所見を伺う。

知事 本当に多様な方が暮らす中で社会は成り立っている。ジェンダー等に関わらず皆さんにとって暮らしやすい長野県をつくりたい。

＊質問を終えて＊

意思決定の場への女性比率を高める取組を質問をしている時、自民県議席から批判的ヤジが！県議会内での意見交換する必要がありますね。

